別紙 2

令和８年度多面的機能支払交付金

中国四国農政局長表彰

優秀賞組織の概要

１．大東延命の里集落協定（島根県雲南市）・・・１

２．木之子地区農地・水・環境保全組合
（岡山県井原市）・・・２

３．安芸津農地・水・環境保全管理協定運営委員会
（広島県東広島市）・・・３

４．元気村二島東（山口県山口市）・・・４

５．豊浜地域資源保全会（香川県観音寺市）・・・５

６．今治南甲・北保全会（愛媛県今治市）・・・６

７．ひがなか広域保全会（高知県四万十市）・・・７

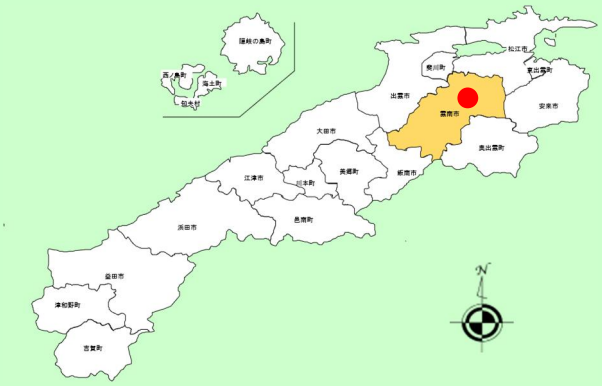
令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（島根県）

【多面的機能支払】

「大東延命の里集落協定」（雲南市）

（１）認定農用地面積：11.3ha
（田：10.9ha、畑：0.4ha）
（２）組 織 構 成 ：
５集落（農家 18 戸、非農家８戸）
開水路：30.0km、農道 30.0km



【組織の概要】

本組織は、雲南市の北部に位置する中間農業地域で、農事組合法人「夢ファーム延命の里」を中心に、水稲や市特産品の山椒を栽培しています。

地区内にある「延命地蔵」の加護により住民は長生きだったという伝承がある「延命の里」では、令和２年から活動を開始。地域農業の継続のため日本型直接支払の３支払を有効活用し、農地・農村環境の保全や農作業の省力化に積極的に取り組んでいます。

【主な取組内容】

○　老朽化した水路等の直営施工、急斜面での草刈りや防草シートの敷設、広域柵（ワイヤーメッシュ）と区画毎の電気柵を組み合わせた鳥獣被害防止対策、事務支援ソフトの導入など、活動と事務の両面で効率的に共同作業を実施しています。また、中山間地域等直接支払では、近隣集落とネットワーク協議会を設立。集落をまたがって活動する「草刈り隊」を結成し、本制度の活動でも活躍しています。

○　大型鳥類のえさ場を確保する「冬期湛水」と併せて環境保全型農業直接支払による「堆肥の施用」に取り組み、市鳥であるコウノトリの飛来数増加や米の食味が向上しました。また、地元企業の協力を得て「Ｊ－クレジット制度」を活用し、メタン発生抑制となる「中干しの延長」にも取り組むなど、減農薬・減化学肥料の取組と合わせて行う環境保全型農業を実践しています。

○　スマート農業では、ドローンによるイネカメムシの一斉防除や水田用自動給水栓の活用により巡回回数を削減するなど、農作業の省力化にも積極的に取り組んでいます。

今後は、コロナ禍で中断していた収穫祭「かかし祭り」と、地域の大学と連携した交流活動（田植え、稲刈り、餅つき大会など）の再開を目標としています。



取水施設の補修作業



冬期湛水とコウノトリの飛来風景



スマート農業の導入
（ドローン防除、自動給水栓）

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（岡山県）

【多面的機能支払】

「木之子地区農地・水・環境保全組合」（井原市）



（１）認定農用地面積：84.2ha
（田：82.6ha、畑：1.6ha）

（２）組 織 構 成 ：
20 集落（農家 222 戸、非農家 139 戸）
開水路：15.0km、農道：4.5km
ため池：10 箇所

【組織の概要】

本組織は、井原市の中心部に位置する都市的地域で、水稲の栽培が盛んです。元々、地域の自治会加入率は 100%に近い水準であり、保全組合の活動を自治会や事務局である落石堰土地改良区がサポートする体制が構築されています。

平成 20 年に市からの紹介で土地改良区を中心に集落がまとまり、活動を開始しました。平成 30 年には、活動範囲を木之子町から東江原町へと広げ取組面積を拡大しており、将来的には土地改良区の受益地全体をカバーする組織統合を検討しています。

【主な取組内容】

○　所有者が高齢のため管理が難しくなった農地などの草刈りを年３回行い、遊休農地を解消して、担い手や法人へ農地集積を働きかけ、地域計画の実現に貢献しています。また、土地改良区の役員を中心に事務局を形成し、事務支援ソフトを活用して事務負担の軽減を図るとともに、PTA 等の広報誌への掲載や活動組織のロゴ入り帽子・シールを作成することにより、構成員の連帯感の醸成や地域への活動の周知・定着につながっています。

○　神社や伝統芸能（備中神楽）と結びついた注連縄作りの伝統行事が盛んな地域で、20 年以上前から毎年、「木之子地区子どもと歩む会」と共同で子供たちと田植えや稲の青刈りなどの稲作体験、注連縄作り、収穫後のライスパーティーを開催しています。

○　長寿命化の活動では、実践の中で建設会社から指導を受けて、スキルアップを図っています。また、外注工事をする場合も活動組織の中に設置した「工事支援班」が一部自主施工に取り組み、限られた予算を有効活用するよう工夫しています。



ため池法面の草刈り



注連縄（しめなわ）作り



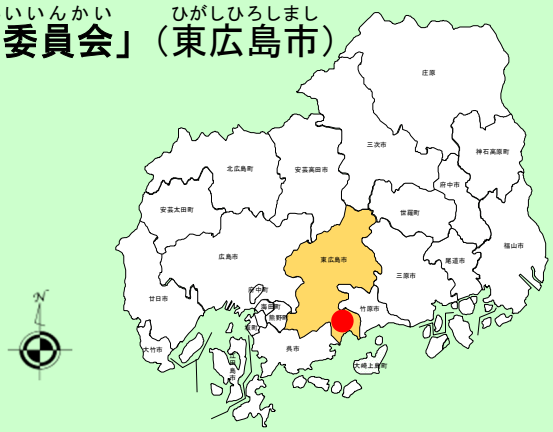
自主施工による農道舗装

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（広島県）

【多面的機能支払】

「安芸津農地・水・環境保全管理協定運営委員会」（東広島市）



（１）認定農用地面積：98.0ha
（田：75.0ha、畑：23.0ha）
（２）組織構成：
11集落（農家266戸、非農家6戸）
開水路：30.8 km、農道：65.7 km
ため池：11箇所

【組織の概要】

本組織は、東広島市の南端、「安芸の良い津（港）」を語源に持ち奈良時代から海上交通の要衝として栄えた「万葉集」ゆかりの旧安芸津町に位置する中間農業地域で、瀬戸内海の温暖な気候と赤土で水はけのよい傾斜地の特性を活かして、全国的にも有名な赤崎地区の馬鈴薯や幻の柑橘と呼ばれる「じゃぼん」、温州ミカン、びわ等の栽培が盛んです。

平成24年に活動を開始して当初から事務局を設置し、旧安芸津町全域をカバーする広域活動組織としてスタートしました。令和７年には、中山間地域等直接支払の各協定も統合して、両交付金で事務局を一本化するなど事務負担の軽減に取り組んでいます。

【主な取組内容】

○　重機操作ができる構成員を中心に、老朽化した簡易な水路や農道の補修・更新は、直営施工で実施しています。また、平成30年の西日本豪雨や令和３年の豪雨の際は、被災した農地や水路の復旧活動に取り組み、早期の営農再開が可能となりました。

○　シカやイノシシ等による食害や施設の破損を防ぐため、荒廃地の草刈りや防護柵の点検・管理を徹底し、高齢化等で耕作ができなくなった農地は近隣の耕作者が草刈りを行い、雑木・竹の伐採によりバッファゾーンを設けるなどの工夫をして、鳥獣が集落に近づきにくい環境整備に取り組んでいます。

○　地域の子供たちと一緒に、ホタルの保全活動や集落の美化活動に取り組んでおり、毎年、カワニナの生息調査やホタルの観察会を実施しています。また、市の「きれいなまちづくりキャンペーン」に参加して、市中心部へのアクセス道として交通量の多い主要道路周辺のゴミ拾い等に各集落で取り組み、地域の美観維持に貢献しています。



農道法面の草刈り
・水路の美化活動



鳥獣防護柵の設置作業



カワニナの生息調査
・ホタルの観察会

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（山口県）

【多面的機能支払】

「元気村二島東（げんきむらふたじまひがし）」（山口市（やまぐちし））

（１）認定農用地面積：77.8ha
（田：71.2ha、畑：6.6ha）
（２）組 織 構 成 ：
２集落（農家３人、非農家９団体）
開水路：28.0km、農道 14.2km
ため池：10 箇所



【組織の概要】

本組織は、山口市の南部に位置する都市的地域で、水稲・小麦・飼料作物・露地野菜の栽培が盛んです。県営基盤整備事業を契機に設立した山口市二島東土地改良区や農事組合法人二島東が中心となり、平成 19 年から活動を開始して、平成 20 年には、活動の効率化や団結力の強化を図るため、中国四国地方初となる NPO 法人化を実現しています。

また、土地改良区、農事組合法人、活動組織の共通事務局を設置して、事務を一元的に管理し、情報の共有化、提供・発信を行い、地域が元気になる活動に取り組んでいます。

【主な取組内容】

○　「地域とともに」をスローガンに、地域が一丸となって、農業用施設の維持・保全や県立総合支援学校と連携したオオキンケイギクの駆除、濁水対策（排水止水板の設置）、コスモスの播種による景観形成、広報誌「二島東」の発行などに取り組み、住民参加型の共同活動を通じた地域コミュニティの活性化に繋がっています。

○　子育て支援施設と連携して、地域内外の親子を対象に、子供たちが田植えから稲刈り、脱穀、はぜ掛け、籾摺り、収穫、羽釜で炊いたおにぎり作りまでを体験する取組を継続的に実施しており、参加した子供たちや保護者が、農業の大切さや食のありがたさを再認識するとともに、本地域への理解や愛着を深める機会となっています。

○　毎年、留守家庭学級の子供たちが制作したかかし（令和７年には話題性のあるかかし）を県道山口秋穂線沿いに展示し、多くの地域住民や来訪者に親しまれており、農村文化の伝承や交流人口の増加、地域の魅力発信に寄与しています。



草刈り・泥上げ・機場の点検



食農体験活動



外来種の駆除、かかしの製作

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

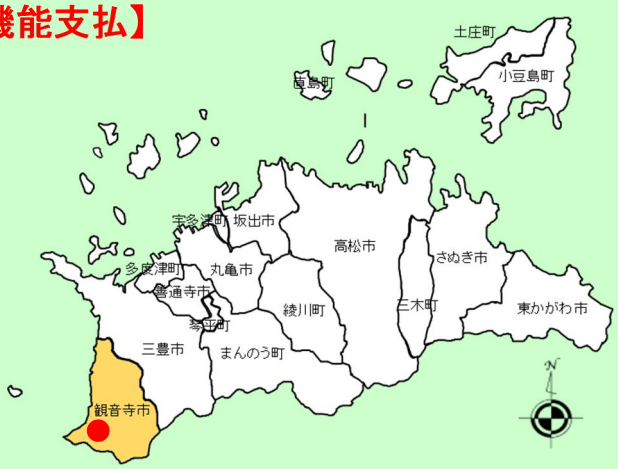
中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（香川県）

【多面的機能支払】

「豊浜地域資源保全会（とよはまちいきしげんほぜんかい）」（観音寺市（かんおんじし））

（１）認定農用地面積：112.0ha
（田：87.9ha、畑：24.1ha）

（２）組 織 構 成 ：
11 集落（農家 410 戸、非農家 260 戸）
開水路：49.9km、農道：24.4km
ため池：26 箇所



【組織の概要】

本組織は、観音寺市の南西部に位置する都市的・平地農業地域で、昭和 50 年代に圃場整備が完了した平地水田地帯では、地域インフラとして重要な 26 箇所のため池等があり、ため池管理組合を中心に、非常時の体制強化や効率的な配水操作を推進しています。

平成 26 年に市の紹介をきっかけに、話し合いを重ねて活動を開始し、当初から豊浜町土地改良区に事務委託をして事務負担を軽減するとともに、単独では活動が難しい周辺の未取組地域と広域化して、荒廃農地の発生防止や農地の維持管理に取り組んでいます。

【主な取組内容】

○　ラジコン草刈機の活用によるため池法面など急傾斜地での草刈り作業の安全性の向上・省力化や事務局である土地改良区を中心に水土里ビジョンの策定による施設の維持・管理体制の強化、旧豊浜町単位での広域化の推進、広域化のスケールメリットを活かした重点的な予算配分による施設の更新等の長寿命化活動に取り組んでいます。

○　広域化により、これまで水路への転落の危険性があるものの、金銭的な問題や工事発注が不慣れなことから、転落防止柵の設置が困難であった地域で、長寿命化工事を活用した転落防止柵の設置による安全性の確保が実現したほか、地域内の農業法人が増加して地域計画に沿った農地の集積・集約化が進むなどの効果が発生しています。

○　構成員有志によって栽培されている綿花を地元の小学４年生の「ふるさと学習」の題材として提供。かつて四国一の綿製品の産地として栄えた地域産業の歴史を学ぶ場となっています。また、長寿会と連携したコスモスの植栽やコスモス畑の看板設置、広報活動ポスターの作成等により、若い世代の活動参加につながっています。



機能診断と直営施工の様子



転落防護柵の設置前後



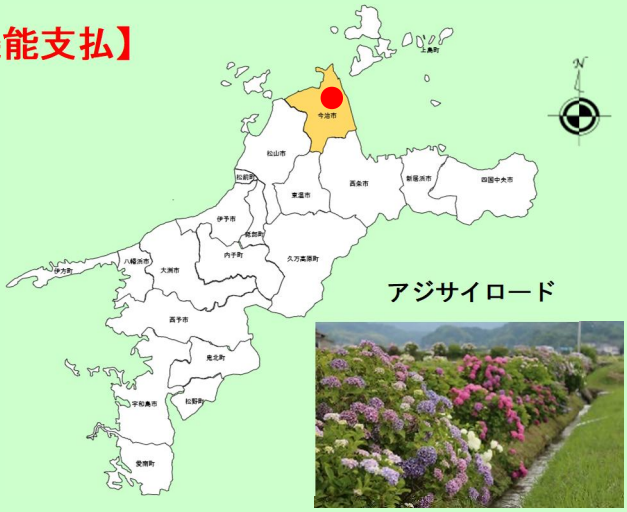
綿・コスモス畑と広報用ポスター

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（愛媛県）

【多面的機能支払】

「今治南甲・北保全会」（今治市）



アジサイロード

（１）認定農用地面積：82.4ha
（田：80.8ha、畑：1.6ha）

（２）組 織 構 成 ：
２集落（農家 186 戸、非農家２戸）
開水路：23.1km、農道：15.5km
ため池：６箇所

【組織の概要】

本組織は、今治市の旧朝倉村に位置する平地農業地域で、愛媛県のブランド米「ひめの凜」など水稲栽培が盛んです。自治会を中心に平成 19 年から活動を開始して、高齢化が進む中においても、多数の地域住民が参画し、畦畔・法面の草刈りや遊休農地の発生防止に取り組み、優良農地の保全や農業施設の維持管理を継続しています。また、教育機関と連携して特色のある活動に取り組み、世代を超えた交流を促進しています。

【主な取組内容】

○　「この地域のいいところを次の若い世代に繋げていきたい」との思いから、毎年、地元小学校と連携して、田植えから稲刈り、しめ縄づくり、餅つきなど、四季を通じた農業体験活動を実施し、児童が農業や農村の役割を学ぶ機会を提供するとともに、地域住民との交流を通じた農村文化の継承や次世代の担い手育成に取り組んでいます。

○　地域住民が協力して、地域資源である紫陽花を活用した景観形成活動に取り組み、梅雨時には、農道沿いに約 500 株のカラフルな紫陽花が咲き誇る「アジサイロード」が現れます。また、令和５年から保全会が主催で「朝倉紫陽花まつり」を開催して、紫陽花の切り取りや魚のつかみ取り、野菜の即売会を実施し、地域内外から多くの家族連れで賑わい、地域コミュニティの活性化や地域の更なる魅力向上に繋がっています。

○　「朝倉紫陽花まつり」や保全会の活動内容を地域住民や非農家の方に広く PR・周知して、より一層地元を盛り上げるため、今治市朝倉支所発行の「あさくら便り」や JA 広報誌への掲載、FM ラジオによるイベント告知、活動パンフレット・広報チラシの作成・配布など、多様な媒体を活用した広報活動・情報発信に力を入れています。



小学校と連携した体験活動
田植え・稲刈り・しめ縄作り



魚のつかみ取り
（朝倉紫陽花まつり）



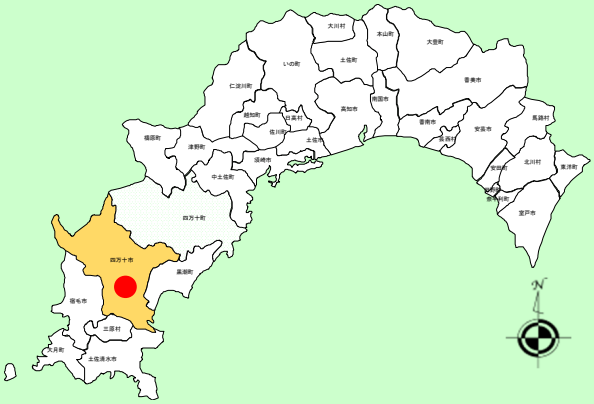
（左）広報チラシ・紫陽花まつり
（右）あさくら便り（掲載箇所拡大）

令和８年度　多面的機能発揮促進事業

中国四国農政局長表彰　優秀賞組織（高知県）

【多面的機能支払】

「ひがなか広域保全会（こういきほぜんかい）」（四万十市（しまんとし））



（１）認定農用地面積：81.4ha
（田：81.3ha、畑：0.1ha）

（２）組 織 構 成：
６集落（農家９戸、非農家 13 戸）
開水路：16.2km、農道：7.5km

【組織の概要】

本組織のある楠島（くすしま）・間（はざま）地区は、四万十市街の西側に位置し、一級河川「中筋川」の流域に広がる山間農業地域で、温暖多雨ながらも日照時間に恵まれ、豊富な水資源を活かした減農薬の四万十米や大葉、ショウガ、栗、ししとう、米ナスの栽培が盛んです。

平成 21 年に活動を開始し、過疎化や高齢化を背景に、地域資源の維持管理が困難になってきたことから、令和７年度に隣接する組織同士が合併して、高知県内で２例目となる広域組織化を実現。課題となっているマンパワー不足を解消するため「活動支援班」を新設して、草刈りや重機操作をサポートするなど、活動の幅を広げています。

【主な取組内容】

○　県営基盤整備事業の実施を契機に、受け皿となる集落営農法人を設立し、農地の集積・集約化を進めています。また、小学校と連携して「かかし」の製作やコスモス・スイセン・ヒガンバナの植栽、秋祭りと合わせた集落美化活動などを実施しています。

○　子供会や自治会と協力して、平成 22 年に「子供神輿」を復活させ、昭和初期に途絶えていた「神輿行列」を約半世紀ぶりに再開しました。手作りの神輿で神社周辺の約２km の道のりを法被姿の子供たちがパレードします。子供の頃に体験して得られる地域の思い出を大切に守っていくことで、将来にわたり伝統文化が継承されるよう、地域一丸となって取組を応援しています。

○　長寿命化の活動では、活動支援班が重機のオペレーターとして直営施工を支援し、老朽化した水路の補修・更新や農道のコンクリート舗装等を計画的に実施することで、施設の機能維持や活動経費の効率的な活用につながっています。



かかし製作と集落美化活動



農村文化の「子供神輿」



直営施工による水路の嵩上げ